

令和2年 5月 18日

東北農政局長 殿

岩手県遠野市上郷町細越8-53
遠野ブランド海外輸出協議会
会長 柄澤 靖彦



令和元年度 山村活性化支援交付金事業実施評価の報告について

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領(平成30年3月28日付け29農振第2261号農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、関係書類を添えて報告します。

令和元年度 山村活性化支援交付金事業実施評価書

1. 事業名 山村活性化対策事業
2. 事業実施主体名 遠野ブランド海外輸出協議会
3. 事業概要
- ・事業目的 遠野中山間地における農産物を生産、製造し、国内、海外に流通させるために、プロモーション活動をする。
 - ・事業費・交付額(単位:円) 事業費 10,213,266円 交付額 9,554,320円
 - ・事業実施期間 令和元年 7月11日 ~ 令和2年 3月20日

4. 実績評価 別紙2参照

- (1) 目標の達成状況等の総合的評価
- (2) 取組状況
- (3) 事業実績
- (4) 実施体制
- (5) その他事項

5. 事業実施結果

・目標達成状況

指標	目標値	実績値	達成率
・海外輸出総額	1200万円	2000万円	160%
・商品開発数	8個	8個	100%
・農産物生産量(ホウレンソウ)	1980kg	2100kg	106%
・農産物生産量(香辛野菜)	0kg	100kg	200%
・農業従事者数	0人	1人	200%

・所見

令和元年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和元年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農産振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価	コメント
			R1	R2	R3			
岩手県	遠野市	遠野ブランド海外輸出協議会	●	○	□	A		計画通り事業が実施されている。山村の魅力を常に発見し、磨こうという意識が高い。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
 (注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である 遠野商工会会長 佐々木弘志氏から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

遠野商工会会長 佐々木 弘志

【意見聴取の概要】

令和元年度 農山漁村振興交付金事業の実施状況について、協議会事務局より各項目ごとに評価委員に説明を行った。遠野市山村活性化にとつて重要なことは、農業資源を活かした付加価値商品づくりであり、当活動はその先導をはたしている。同様の事業を行う中で、成果が具体的な形でみえないことが多いが、この事業は目標を具体的に示し、実現しているところを評価いただいた。

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	遠野ブランド海外輸出協議会	事業開始年度	目標年度	事業実施期間(令和元年度)
2. 取組振興山村名	岩手県遠野市 上郷町、宮守町	令和元年度	令和3年度	令和元年7月11日～令和2年3月31日
3. 事業費(うち国費)	10,213,266円(9,554,320円)			
4. 第三者氏名	遠野商工会会長 佐々木弘志			
5. 事業評価				
総合評価				
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)				
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)	重点指導対象
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。				
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)	重点指導対象
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。				
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)	重点指導対象
③ 実施体制				
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。				
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)	重点指導対象
④ その他				
特になし				

(評価理由及び助言等のコメント)
遠野山村の活性において必要なことは、情報の収集と、その知識を遠野市内部において具体化していくことである。初年度にこれだけ多角的に活動できたこと、評価したい。

(評価理由及び助言等のコメント)
自分達のいる地域の強みはなんなのかを知らない地域は活性化していかない。それぞれの事業者及び、事業者が意識付けをしていくことが大事であるが、それを事業を通して行ない、強みをみつけてきている。これはとても重要なことである。

(評価理由及び助言等のコメント)
事業実施目標は ①海外輸出総額 ②商品開発発数 ③農産物生産量 ④農業従事者数 と具体的なものとしており、成果がわかりやすい。 それぞれの結果は ①160% ②106% ③100% ④目標は0人だったが、実際は1人従事者が増えている、等、すべて100%以上の達成率となった。また、数値化するのには難しいが波及効果として、農業生産者が実際に外を見たり、体験することで、自身のこれまでの活動を見直し、改善が必要などころは改善する等意識が高まったこと等がある。

(評価理由及び助言等のコメント)
体制は地域内においては理想的な形をとっている。海外に対してジェトロ盛岡とも連携しており、良い状態である。

* 掲載名の字誤経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。

学識経験者等第三者について

遠野ブランド海外輸出協議会

1. 第三者の氏名、住所

- ① 氏名： 佐々木弘志
- ② 住所： 岩手県遠野市新穀町6番1号
tel: 0198-62-2456

2. 第三者に選定した理由

佐々木弘志氏は遠野商工会長 及び 岩手商工会連合会理事の役を担っておられる。幅広い見地から意見を伺えると思いい選定した。 地場企業や市内の農業生産の動向に詳しく、産直のあり方、農業の六次産業化に積極的に発言している。

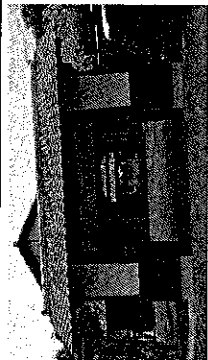
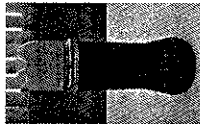
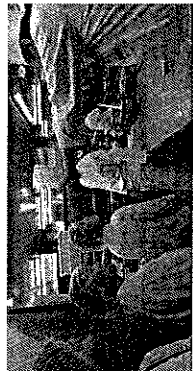
3. 第三者の経歴

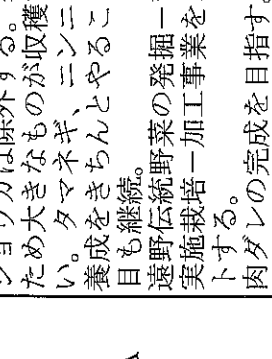
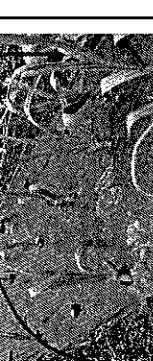
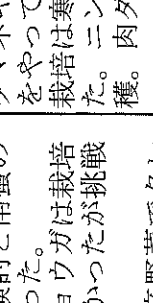
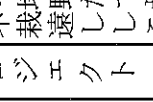
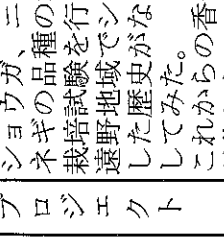
- 昭和45年3月 岩手大学工学部卒業
- 昭和52年4月 (有)トーン精密設立 現 (株)トーン精密 代表取締役 に就任
- 平成9年6月～11年3月 遠野市情報化推進協議会専門部会委員
- 平成16年10月～17年3年 遠野地域ビジネス支援委員会委員
- 平成18年4月～ 遠野市総合計画審議会 理事
- 平成19年6月～ 岩手県商工会連合会 会長
- 遠野商工会 会長

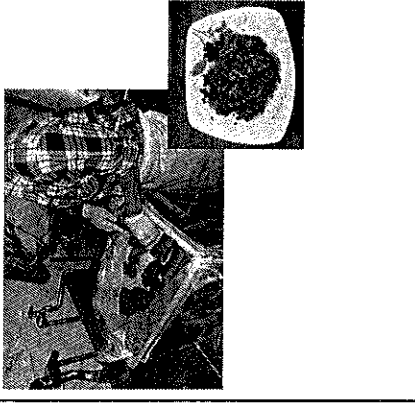
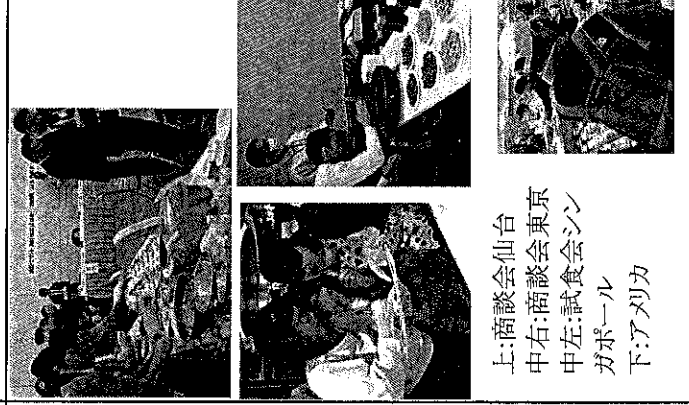
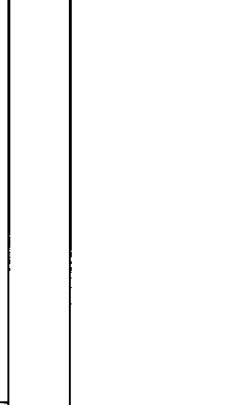
現在に至る

令和元年度	事業開始 1年目	岩手県遠野市	遠野ブランド海外輸出協議会
-------	-------------	--------	---------------

農山漁村振興交付金（山村活性化対策）

具体的実施状況	実績	写真	事業評価	今後の取り組み
<p>○事業の実施状況 当年度に行った事業の具体的実施状況・実績について、写真、図等も利用し記載する。</p> <p>先進地調査事業</p>	<p>産直の魅力は農産物の六次産業化である。視察に学び、農産物の商品化に取り組んだ。ドレッシング2種、乳製品スイーツ5種、また、年間通じて野菜の出荷ができ特に冬期間のホウレンソウは休まず出荷でき出荷農家11月～翌年3月まで販売実績20%アップした。</p>	 	<p>A</p>	<p>先進地調査において農家経営から事業経営に変換していくため、情報収集・分析・事業の展開するため農業関連産業の方々と意見交換する必要がある。</p>
<p>遠野ブランド商品化に向かって、菓子製造の高度な技術習得のため首都圏の製造及び販売モデル事業体を視察、研修を受けた。</p> <p>①乳製品を使用した製菓・パン技術研修 ②首都圏販売店のメーカーケツト調査</p>	<p>東京都内の一流ホテルシェフに厨房を案内してもらい、販売の視点を取り入れた商品企画のあり方、競争の厳しい地域での販売の取り組み方について学ぶ。</p>	 <p>上:川場田園プラザ 中:商品化したドレッシング 下:ホテルエドモント 厨房見学</p>	<p>激戦地域での商品作りの視点：洗練された美しさが大事であることを学んだ。地方にいる我々は素材の良さだけでなく、そこに洗練された技が必要であり、都会との差別化には地域の特性、歴史等のストーリーを語りながら商品を作る必要がある。</p>	

地域資源栽培加工事業	野菜の高度加工開発プロジェクト	乳製品商品開発プロジェクト		
具体的実施状況	実績	写真	事業評価	今後の取り組み
<p>ハウレンソウ 種苗会社、肥料会社より講師を招き現場で2回技術研修を行った。 試験栽培を行い越冬ハウレンソウをはじめの栽培を行って収穫できた。</p>	<p>7月～翌3月まで5棟のハウスで年間作付を実施した。 1年目の評価 作付品種は次の通り 7月～8月 ジャスターイス 8月～9月 ミラージュ 10月～11月 クロノス 11月～翌3月 スマートアップ クロノス</p>		<p>A</p>	<p>2年目も継続して実施し品種体系を確立する。連作回避のためトマト・イチゴを導入する。</p>
<p>香辛野菜 シヨウウガ、ニンニク、タマネギの品種の検討と南蛮の栽培試験を行った。 遠野地域でシヨウウガは栽培した歴史がなかったが挑戦してみた。 これからの香辛野菜でタレが作れないか検討した。</p>	<p>タマネギは夏栽培と冬栽培の2種をやって収穫。夏栽培は小玉、冬栽培は寒さのため欠株が多くなった。ニンニクも大きなものが収穫。肉ダレの試作を行った。</p>		<p>A</p>	<p>シヨウウガは除外する。寒さのため大きなものが収穫できない。タマネギ、ニンニクは株養成をきちんとやることで2年目も継続。 遠野伝統野菜の発掘一育成一実施栽培一加工事業をスタートする。 肉ダレの完成を目指す。</p>
<p>チーズ スイスに技術研修に行きラクレツチーズ、アッペンツェルチーズの製造技術を学び、試作を繰り返した。 製造技術だけでなく出来た後の塩漬で一熟成というプロセスも学ぶ。</p>	<p>ラクレツチーズとアッペンツェルチーズの製造工程を確立できた。 日本のチーズ、特に遠野のチーズとして個性ある味わいを作り出したのは大きい。</p>		<p>A</p>	<p>伝統のない遠野でチーズ製造を根付かせるため試作を重ねること。 半熟成タイプ2ヶ月熟成の種類を増やすこと。</p>
<p>クロテッドクリーム 1年目は情報収集と作り方の基本を学んだ。1度作ってみた。</p>	<p>イギリスの南西部が産地であることが分かりクロテッドクリーム1回の試作であったが牛乳の質の高さを確認できた。</p>		<p>A</p>	<p>2年目はイギリスの南西部に産地調査に行きクロテッドクリーム製造方法を確立する。</p>
<p>スイーツ 技術習得会を5回実施しスイーツの基本を学んだ。 地域の食材との組み合わせを検討した</p>	<p>プリン、ロールケーキ、シュークリーム、チーズケーキ、フィナンシェ、マドレーヌのスイーツを開発した。 冷凍化技術も開発した。</p>		<p>A</p>	<p>種類を増やすこと。特にチーズケーキはオリジナルを出したい。</p>

遠野牛産地ブランド育成プロジェクト	遠野ブランド商品プロモーション事業	地域資源栽培加工事業			
遠野牛産地ブランド育成プロジェクト	遠野ブランド商品プロモーション事業	遠野牛産地ブランド育成プロジェクト	遠野牛産地ブランド育成プロジェクト	遠野牛産地ブランド育成プロジェクト	遠野牛産地ブランド育成プロジェクト
遠野牛産地ブランド育成プロジェクト	遠野ブランド商品プロモーション事業	遠野牛産地ブランド育成プロジェクト	遠野牛産地ブランド育成プロジェクト	遠野牛産地ブランド育成プロジェクト	遠野牛産地ブランド育成プロジェクト
遠野牛産地ブランド育成プロジェクト	遠野ブランド商品プロモーション事業	遠野牛産地ブランド育成プロジェクト	遠野牛産地ブランド育成プロジェクト	遠野牛産地ブランド育成プロジェクト	遠野牛産地ブランド育成プロジェクト
<p>規格外牛肉加工技術講習会 フレンドシップを招き、加工 技術を学んだ。その試食会 も高い評価を得た。 遠野牛の冷凍試験 C.A.S冷凍を行った。 試作も行い新しいメニュー を開発中。</p>	<p>協議会が取り組んだ商品を 「遠野ブランド」としてプ ロモーションを行った。 ホウレンソウ 香辛野菜 チーズ 乳製品スイーツ 遠野牛規格外牛肉</p>	<p>遠野牛の部位ごとの加工技術を学 んだことは大きな成果だった。特 に地ビールを使った煮込みは新商 品となりうる。</p>		<p>A</p>	<p>今後の取り組み 部位ごとの食材を活かした商 品開発を行う。しぐれ煮、地 ビールの煮込み、ハンバーグ など2年目に取り組んでいき たい。 海外へ輸出</p>
<p>産地で年間通年販売 肉ダレの試作 レシビ開発試食会 レシビ開発試食会 レシビ開発試食会</p>	<p>新しい市場形成が出来たこと 海外での試食会で商品レベルと知 り得たことと、どういうカタチの 輸出がその国にとって有効なのか 具体的に知ることが出来た。</p>	<p>産地で年間通年販売 肉ダレの試作 レシビ開発試食会 レシビ開発試食会 レシビ開発試食会</p>		<p>A</p>	<p>製造委託業者の選定 商品化とパッケージデザイン 国内の商談会は積極的に参加 する。特に沖縄はアジア市場 の中継（ハブ）であるため商 談会に出展する。 今後 伸びるであろう中国に プロモーションをかけた。</p>
<p>国内 東京、仙台、大阪のホテル で商談会開催 海外 アメリカ5都市で市場調査と 試食会。 シンガポールで市場調査と 試食会。 ベトナムで市場調査を行っ た。</p>	<p>上:商談会仙台 中右:商談会東京 中左:試食会シン ガポール 下:アライカ</p>	<p>上:商談会仙台 中右:商談会東京 中左:試食会シン ガポール 下:アライカ</p>		<p>A</p>	<p>製造委託業者の選定 商品化とパッケージデザイン 国内の商談会は積極的に参加 する。特に沖縄はアジア市場 の中継（ハブ）であるため商 談会に出展する。 今後 伸びるであろう中国に プロモーションをかけた。</p>

○今後の事業構想
具体的にどのような取組を行うか記載する。 今後の取り組みは上記記載